

学修成果・教育成果の 把握・可視化 について考える

～国際地域学部が導入した
GPS-Academicの成果に見る
アセスメント・テストの有効性について～

昨今の大学教育における最重要課題のひとつとなっているのが、**学修成果・教育成果の把握・可視化**です。従来、直接評価的な性格を持つGPAや間接評価の代表例とも言える学生による自己評価アンケートなどが、学修成果・教育成果を測るための主要な指標として用いられてきましたが、いずれも評価者による基準のばらつきが大きいため、学内や大学間での比較を可能にする「共通言語」とはなり得ませんでした。近年、教育の内部質保証に資する新たな指標として多くの大学が積極的に導入するようになったのが、汎用的能力を測るための外部アセスメント・テストです。

本年度のシンポジウムでは、本学でいち早く学部を挙げて外部アセスメント・テストを導入した国際地域学部の取り組みに焦点を当て、同学部が3年間にわたって実施してきたGPS-Academicの成果を紹介しながら、学修成果・教育成果を可視化する上でのアセスメント・テストの有効性と可能性について考えてみたいと思います。

福井大学 文京キャンパス

総合研究棟 I・13階 大会議室

松岡キャンパス 講義棟会議室 [同時配信]

敦賀キャンパス 第1講義室 [同時配信]

(オンラインとのハイブリッド方式での開催)

3月16日(水)
13:30～15:00

13:30

開会挨拶

福井大学 理事(教育, 評価担当) / 副学長

高等教育推進センター長 安田 年博

13:40～14:50

GPS-Academicの説明

ベネッセ i-キャリア 藤井 公雄 氏

国際地域学部の取り組みについて

福井大学 国際地域学部 教授 松田 和之 氏

国際地域学部における3年間の実施結果の分析

ベネッセ i-キャリア 藤井 公雄 氏

14:50

閉会挨拶

福井大学 高等教育推進センター

副センター長 山田 徳史